

【小学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の内容】 ◇知識及び技能 (1)言葉の特徴や使い方に 関する事項 (2)情報の扱い方に 関する事項 (3)我が国の言語文化に 関する事項 ※全ての内容において、全国の 平均正答率を大きく上回って います。 ◇思考力・判断力・表現力等 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと ※全ての内容において、全国の 平均正答率を大きく上回って います。	●言葉の特徴や使い方に 関する事項において、<u>聞き取り問題</u>の 【構成メモの工夫として適切なもの を選択する】【動画の一部の工夫 として適切なものを選択する】、<u>選択問題</u>の【文章の工夫と して適切なものを選択する】の<u>無 回答率</u>が、全国の無回答率と比べ て高い傾向にある。 ●全体的な正答数分布におい て、正答数が多い児童が大半だ が、一方で正答数が低い児童も見 られる傾向にある。	○話の内容が明確になる話の構 成・筋道の通った文章となるよ うな文章全体の構成や工夫につ いて指導していく。 ↓ 「起承転結」を意識した文章構 成の在り方や「問い」と「答え (結論)」の整合性を考えた文章 の書き方を意識できるようにす る。読み取りの学習では、筆者 の文章や構成の工夫に目を向け させ、その効果について考えて いく。 ○全員が指導内容を定着できる ように指導していく。 ↓ 学習の中での振り返りの時間と 場を意図的に設けたり、定期的 な漢字テストの継続を図ったり することで、基礎基本の定着を 目指していく。

【小学校算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の領域】 A 数と計算 B 図形 C 測定 C 変化と関係 D データの活用 ※全ての内容において、全国の平均正答率を大きく上回っています。	●B図形領域において、1平方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く問題の無回答率が全国の無回答率と比べて高い傾向にある。 ●全体的な正答数分布において、正答数が多い児童が大半だが、一方で正答数が低い児童も見られる傾向にある。	○体積の意味について理解しているかどうかを指導していく。 ↓ 1立方センチメートルのブロックの具体物を積み上げる操作活動や底面積が積み上がることで体積になるという概念を図領域の学習の中で復習する。また、公式や数のみの理解ではなく、「これを求めるためには、○○と□□をかければ、～が分かる」という式の数が見える意味まで考える学びを積み重ねる。 ○全員が指導内容を定着できるように指導していく。 ↓ 単元学習の最後の「まとめ問題」「チャレンジ（復習）問題」を丁寧に扱い、特に小数・分数や辺と角の構成・割合について、繰り返し復習する。

【児童質問紙】

() 内の数値は全国の数値・赤字は本校の数値 単位は%

【全国に比べて肯定的（当てはまる・どちらかと言えば当てはまる）な回答の多い主なもの】

- ・自分にはよいところがあると思いますか。(85.6) 90.4
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。(91.4) 100
- ・将来の夢や目標をもっている。(81.8) 86.9
- ・人が困っているときは、進んで助けている。(92.7) 95.6
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。(70.6) 79.9
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。(95.8) 98.3
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。(85.7) 92.1
- ・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。(69.6) 82.4
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。(92.5) 96.5
- ・地域や社会をよりよくするために何かしてみたい。(80.1) 83.3
- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりする。(85.7) 93.0



学校教育目標「ともに」の教育を継続して推進し、相互承認の感度が高まるよう時間や場を意図的に設定していることで、一人一人が「自分が大切にされている」と実感している子が多くなっていることがわかります。また、友達や御家庭等での温かな関わりによって、学びを深めたり、幸せを感じたり、地域貢献の芽が育まれていたりすることが分かります。今後も「ともに」の教育活動をより推進していきます。

【全国に比べて肯定的な回答がやや少なかったもの】

- ・5年生までに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていたか。(83.2) 81.6



算数科の授業の中で、日常生活の事象を問題に取り入れたり、学びを生かす場面で、実際の日常生活の場面を意図的に考えさせる手立てをとることで、活用するよさを実感させることができるようにしていきます。